

力性ある運営を爲し得る如くすること

四、戦時適正賃金制度の確立

勤勞者の生活の恒常性を確保し勤勞能率の向上を期する爲賃金統制を合理的ならしむると共に賃金統制上必要な措置を別途講ずること

第四、勤勞者用物資、住宅等に關する

對策の強化

一、勤勞者用物資の割當並に配給は原則として産業報國會の組織を通ずることとし其の一元化を圖ること

二、工場、鑛山、事業場に於ける購買會の配給機構上の地位を認め之が積極的活用を圖ること

三、勤勞者住宅、寄宿舎及厚生施設は國に於て一定の規格を定め工場施設と一體的に計畫せしむると共に其の建設、既設建物の有効利用等に付特別の措置を講ずること

第五、本要綱實施に關し必要な經費に付ては豫算上の措置を講ずること

民族研究所官制の公布

民族研究所官制は昭和十八年一月十八日付官報を以て左の如く公布せられた。

民族研究所官制 (昭和十八年一月十六日勅令第二十號)

第一條 民族研究所ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ民族政策ニ寄與スル爲諸民族ニ關スル調査研究ヲ行フ

第二條 民族研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

所員 專任八人 奏任

助手 專任八人 判任

書記 專任二人 判任

所長ハ所員ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 民族研究所ニ參與ヲ置キ所務ニ參與セシム

參與ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 所長ハ文部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第五條 所員ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

第六條 助手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ所務ニ従事ス

第七條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

文部省官制第八條第四號中「電波物理研究所」ノ下ニ「民族研究所」ヲ加フ

〔參照〕

昭和十七年十一月一勅令第七百四十八號文部省官制抄録

第八條 科學局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

四 氣象官署、緯度觀測所、資源科學研究所、電波物理研究所及東京科學博物館ニ關スル事項

健康保險法中改正法律の一部施行期

日の件公布

健康保險法中改正法律の一部施行

期日ノ件 (昭和十七年十二月九日勅令第八百二十五號)

昭和十七年法律第三十八號中未ダ施行セラレザル規定ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條第二項、第十三條及第四十五條ノ改正規定並ニ第十三條ノ二、第四十三條ノ三乃至第四十三條ノ五及第五十九條ノ二ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行令中改正の件公布

健康保險法施行令中改正の件

健康保險法施行令中改正の件 (昭和十七年十二月九日勅令第八百二十六號)

健康保險法施行令中左ノ通改正ス

第一條 健康保險法第一條第二項ニ規定スル被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者(以下被扶養者ト稱ス)ノ範圍ハ引續キ六月以上被保險者タリシ者ノ配偶者(屆出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)以下之ニ同ジ)及子ニシテ専ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スルモノ並ニ其ノ被保險者ト同一ノ世帯ニ屬シ専ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者トス

第五條 第一項第三號及第四號中「作業」ヲ「業務」ニ、第六號中「業務」ヲ「事業所」ニ改ム

第五條ノ三第二項ヲ左ノ如ク改ム

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金額ガ十錢未滿ナルトキハ延滞金ヲ徵收セス

第七條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベ

キモノノ事業ニ使用セラルル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ健康保險ノ被保險者トセズ

一 官吏及待遇官吏

二 第九條第二號及健康保險法第十三條第四號(乃

至)ニ掲グル事業ノ事業所ニ使用セラルル者

第七條ノ二 國ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニシテ

第九條第一號及健康保險法第十三條第四號(イ)乃至(ホ)

ニ掲グル事業ノ事業所並ニ同條第一號及第二號ノ事

業所ニ使用セラルルモノガ共濟組合ノ組合員ナル場

合ニ於テ其ノ組合ノ給付ノ種類及程度ヲ厚生大臣ニ

於テ適當ナリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其

ノ被保險者ニ對シテハ同法ノ規定ニ依ル保險給付ヲ

爲サズ

第九條 健康保險法第十三條第四號(ル)ノ規定ニ依リ左

ノ事業ヲ指定ス

一 焼却、清掃又ハ屠殺ノ事業

第九條ノ二 健康保險法第十三條ノ二第二項第一號ノ

規定ニ依リ船員保險法第二十條第一項ノ規定ニ依ル

被保險者ヲ指定ス

第九條ノ三 健康保險法第十三條ノ二第二項第二號ノ

規定ニ依リ定ムル額ハ千八百圓トス

第九條ノ四 臨時ニ使用セラルル者ノ中左ニ掲グル者

ハ健康保險法第十三條ノ二第二項第三號、第十五條

第二項又ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ依リ被保險

者トセズ但シ第一號ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エ

テ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ第二號若

ルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 二月以内ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者

二 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ使用セラ

ルル者

三 日日雇入レラルル者

四 前各號ニ掲グル者ノ外厚生大臣ノ指定スル者

第九條ノ五 健康保險法第十三條ノ二第二項第四號ノ

規定ニ依リ左ノ者ヲ指定ス

一 健康保險法第十三條第三號ノ規定ニ依リ被保險

者タルベキ者ニシテ神社、宗教團體法第二條ノ規

定ニ依ル法人又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他之

ニ準ズベキモノニ使用セラルルモノ但シ第九條第

一號及健康保險法第十三條第四號(イ)乃至(ホ)ニ掲グ

ル事業ノ事務所並ニ同條第一號及第二號ノ事業所

ノ事務所ニ使用セラルル者ハ此ノ限ニ在ラズ

二 事業所ノ所在地ノ一定セザル事業ニ使用セラル

ル者

三 前各號ニ掲グル者ノ外厚生大臣ノ指定スル者

第九條ノ六 疾病又ハ負傷ノ爲勞務ニ服スルコト能ハ

ザル場合ニ於テ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタ

ル日ヨリ起算シ引續キ三月以上俸給又ハ給料ノ全額

ヲ受クルコトヲ得ベキ職員ニシテ保險者又ハ第七條

ノ二ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル共濟組合ノ

承認ヲ受ケ國民健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノ

ハ健康保險法第十三條ノ二第二項ノ規定ニ依リ國民

健康保險ノ被保險者タル期間健康保險ノ被保險者ト

セズ

キ被保險者タリシモノハ其ノ資格ヲ喪失シタル日

(繼續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付

ヲ受ケザルニ至リタル日)ヨリ十日以内ニ健康保險

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者トラントスル申請

ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ

船員保險ノ被保險者(船員保險法第二十條第一項ノ

規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)又ハ勅令ニ依リ組織セ

ラレタル共濟組合ノ組合員タル者ハ此ノ限ニ在ラ

ズ

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ保險者

ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スル

コトヲ得

第十條ノ二 健康保險法第二十一條第一項ニ規定スル

事由ハ左ノ如シ

一 保險料ヲ納付セズシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期

間ヲ經過シタルトキ

二 健康保險法第十三條、第十五條又ハ第十五條ノ

二ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ

三 船員保險ノ被保險者(船員保險法第二十條第一

項ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)又ハ勅令ニ依リ

組織セラレタル共濟組合ノ組合員ト爲リタルトキ

「第三章 健康保險組合」ヲ「第三章 健康保險組合及

健康保險組合聯合會」ニ改ム

第十二條、第十五條第一項、第二十條、第六十二條、

第六十九條及第七十條中「事業」ヲ「事業所」ニ改ム

第五十七條第一項中「事業」ヲ「事業所」ニ改メ同條第二

項ヲ削ル

二第一項「ヲ加フ

第七十三條ノ次ニ左ノ如ク加フ

第七節 健康保險組合聯合會

第七十三條ノ二 健康保險組合聯合會(以下組合聯合會ト稱ス)ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 組合聯合會ノ目的及事業
- 二 組合聯合會ノ名稱
- 三 事務所ノ所在地
- 四 加入及脱退ニ關スル事項
- 五 資産及會計ニ關スル事項
- 六 公示ノ方法

七 其ノ他組合聯合會ニ關シ重要ナル事項

第七十三條ノ三 組合聯合會ハ其ノ名稱中ニ健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ

組合聯合會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七十三條ノ四 組合聯合會設立ノ際ニ於テ定ムベキ初年度ノ收入支出ノ豫算ハ組合聯合會ヲ設立セントスル組合共同シテ之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可申請ハ組合聯合會設立ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

第七十三條ノ五 組合聯合會ノ設立ニ要スル費用ハ組合聯合會ノ負擔トス

第七十三條ノ六 組合聯合會ニ總會、會長、副會長及理事ヲ置ク

總會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議員ハ會員タル組合ノ理事長ニ於テ之ヲ互選ス但シ第七十三條ノ九ノ規定ニ依リ準用シタル第六十

四條ノ規定ニ依リ解散ニ關スル議決ヲ爲ス總會ノ議員ハ會員タル組合ノ理事長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長ハ理事ニ於テ之ヲ互選ス

本令ニ規定スルモノノ外總會ノ組織及權限、議員ノ定數、資格、任期及選舉並ニ會長、副會長及理事ノ定數、資格、任期、選任及權限ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第七十三條ノ七 組合聯合會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス第七十三條ノ八 組合聯合會解散シタルトキハ理事清算人ト爲ル

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキハ厚生大臣清算人ヲ選任ス清算人缺ケタルトキ亦同ジ清算人ハ組合聯合會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス清算方法及財産處分ニ付テハ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得第七十三條ノ九 第十五條第十六條第二十一條、

第二十五條乃至第三十三條、第三十七條乃至第四十二條、第四十四條乃至第四十八條、第五十四條、第五十五條、第六十四條、第六十六條、第七十一條第一項及第七十二條ノ規定ハ組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第十六條中事業主トアルハ理事トシ

第二十五條乃至第三十條、第三十二條、第三十九條乃至第四十一條、第四十二條、第四十五條、第四十六條、第六十四條及第七十一條第一項中組合會トアルハ總會トシ第二十八條、第三十七條及

第三十八條中理事長トアルハ會長トシ第四十二條中組合員トアルハ會員トシ第七十二條中健康保險法第三十九條トアルハ健康保險法第四十二條ノ二第五項ノ規定ニ依リ準用シタル同法第三十九條トス

前項ノ規定ニ依リ準用シタル第三十九條、第四十五條、第五十四條及第五十五條ニ於テ監督官廳トアルハ厚生大臣トス

第七十三條ノ十 第二十一條ノ規定ハ會長、副會長及理事ニ之ヲ準用ス

第七十三條ノ十一 本令ニ規定スルモノノ外組合聯合會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 健康保險法第四十三條ノ二ノ規定ニ依リ一部負擔金ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セザル場合左ノ如シ

一 業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合

二 特別ノ事由アル健康保險組合ガ厚生大臣ノ認可ヲ受ケ一部負擔金ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セザルコトヲ規約ヲ以テ定メタル場合

三 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合

第七十五條 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ

保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第七十六條 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル

者ガ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ請求スベキ費用ノ額ハ療養ニ要スル費用ヨリ一部負擔金ヲ控除シタル額トス但シ一部負擔金ノ支拂ヲ要セザル場合ニ於テハ療養ニ要スル費用トス

前項ノ療養ニ要スル費用ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ保險者之ヲ算定ス

厚生大臣前項ノ規定ニ依リ定ヲ爲サントストキハ日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會長ノ意見ヲ聽クベシ

第七十七條 左ノ場合ニ於テハ健康保險法第四十四條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 保險者ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ

二 被保險者ガ保險者ノ承認ヲ受ケ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者ガ緊急ノ場合ニ於テ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

四 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合ニ於テ被保險者ノ申請アリタルトキ

第七十八條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ニ要スル費用ヨリ其ノ十分ノ二ニ相當スル額ヲ控除シタル額ヲ標準トシテ保險者之ヲ定ム但シ一部負擔金ノ支拂ヲ要セザル場合ニ於テハ療養ニ要スル費用ヲ標準トシテ保險者之ヲ定ム

彙 報

前項ノ場合ニ於テ療養費ノ額ハ現ニ要シタル費用ノ十分ノ八ニ相當スル額又ハ現ニ要シタル費用ヲ超ユルコトヲ得ズ

第一項ノ療養ニ要スル費用ノ算定ニ關シテハ第七十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十八條ノ二 保險者ハ厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ健康保險法第四十四條ノ二第一項ノ期間ヲ超エ通ジテ一年ニ至ル迄繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スモノトス但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前三月以上引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

第七十八條ノ三 健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五十二ニ相當スル金額ヲ受クル者ハ職員ニシテ疾病又ハ負傷ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザル場合ニ於テ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ引續キ三月以上俸給又ハ給料ノ全額ヲ受クルコトヲ得ベキモノトス

第七十九條中「病院」ノ下ニ「又ハ診療所」ヲ加フ

第七十九條ノ二 第七十八條ノ二ノ規定ハ健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依ル傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第七十九條ノ三ヲ削ル

第八十一條 健康保險法第五十條ノ規定ニ依ル分娩費ノ額ハ三十圓トス

第八十二條但書中「分娩費ヲ支給シ又ハ助産ノ手當ヲ爲ス」ヲ「分娩費ヲ支給ス」ニ改ム

第八十三條 分娩ニ關シ産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ分娩費ノ額ハ十五圓トス

産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出産手當金ニ付テハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條ノ二 被保險者タリシ者ガ勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合ノ組合員ト爲リタルトキハ健康保險法第五十七條ノ二ノ規定ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第八十七條中「第八十一條」ヲ「第八十三條第二項」ニ改ム

第八十七條ノ二 健康保險法第一條第二項ノ保險給付ハ被扶養者ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ關シテハ家族療養費、被保險者ノ配偶者ノ分娩ニ關シテハ配偶者分

第八十七條ノ三 家族療養費ハ被扶養者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ保險醫及保險藥劑師並ニ保險者ノ指定スル者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ受ケタル療養ニ要シタル費用ニ付之ヲ支給ス

被扶養者ガ前項ノ規定ニ依リ療養ヲ受クルコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ニ就キ診療又ハ手當ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ家族療養費ヲ支給スルコトヲ得

健康保險法第四十三條ノ規定ハ前二項ノ家族療養費ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第八十七條ノ四 家族療養費ノ額ハ療養ニ要スル費用ノ十分ノ五ニ相當スル額トス但シ現ニ要シタル費用ノ十分ノ五ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ療養ニ要スル費用ノ算定ニ關シテハ第七十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十八條ノ二本文及健康保險法第四十四條ノ二ノ規定ハ家族療養費ヲ支給スベキ療養ノ期間ニ之ヲ準用ス

第八十七條ノ五 被扶養者ガ保險醫若ハ保險藥劑師又ハ保險者ノ指定スル者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其ノ被扶養者ガ當該保險醫、保險藥劑師若ハ保險者ノ指定スル者又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ支拂フベキ療養ニ要シタル費用ニ付家族療養費トシテ被保險者ニ對シ支給スベキ額ノ限度ニ於テ被保險者ニ代リ當該保險醫、保險藥劑師若ハ保險者ノ指定スル者又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ之ヲ支拂フコトヲ得

傷病手當金及出産手當金ハ前項ノ規定ニ拘ラズ毎月一定ノ期日ニ支給スルコトヲ得

第八十九條ノ二ヲ削ル

第九十條ヲ第九十三條ノ二トス

第九十條 政府ノ管掌スル健康保險ニ關スル國庫負擔金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ル但シ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九十一條 健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ其ノ健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一トス

前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額ガ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者一人ニ付一年一圓ニ相當スル金額ト其ノ他ノ被保險者一人ニ付一年二圓ニ相當スル金額トノ合算額ヲ超ユル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額ハ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ額ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ前項ノ國庫負擔金ノ總額ノ限度ニ於テ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ額ニ應ジ厚生大臣之ヲ定ム

第九十二條 前條第一項ノ規定ニ依ル國庫負擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ハ療養ノ給付及分娩ニ關スル產院、病院又ハ診療所ヘノ收容ニ直接要シタル金額並ニ傷病手當金、出産手當金、分娩費、埋葬料、療養費、家族療養費、配偶者分娩費及健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給額ノ合算額（同法第四十八條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ直接要シタル金額及同法第五十九條第一項ノ規定ニ依ル傷病手當金又ハ出産手當金

ノ支給額ヲ除ク）ヨリ此ノ合算額ノ被保險者一人當金額ニ同法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル額トシ毎年度之ヲ計算ス

前項ノ療養ノ給付又ハ分娩ニ關スル產院、病院若ハ診療所ヘノ收容ニ要シタル器具、機械、建築物其ノ他ノ施設ニシテ其ノ效用二年以上ニ亙ルモノニ付テハ之ニ要シタル費用ヲ其ノ施設ノ豫定使用年數ニ應ジ各年均等ニ分割シテ之ヲ計算ス

第九十三條 第九十條ニ規定スル被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ヨリ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ヲ除キタル員數ノ平均數トス

第九十一條第二項ニ規定スル被保險者ノ員數ハ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ト其ノ他ノ被保險者トニ付各別ニ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ヨリ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ヲ除キタル員數ノ各平均數トス

前條第一項ノ規定ニ依ル被保險者一人當金額ヲ算出スル場合ノ被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ノ平均數トス

前條第一項ニ規定スル健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル其ノ被保險者ノ員數ノ平均數トス

第九十四條ノ三 前條ノ規定ハ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ガ同條ニ規定スル被保險者以外ノ被保險者ト爲リタルトキ又ハ同條ニ規定スル被保險者以

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬料、分娩費、家族療養費及配偶者分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬料、分娩費、家族療養費及配偶者分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬料、分娩費、家族療養費及配偶者分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬料、分娩費、家族療養費及配偶者分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬料、分娩費、家族療養費及配偶者分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分娩費ノ額八十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當、哺育手當金ノ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

外ノ被保險者ガ同條ニ規定スル被保險者ト爲リタルトキニ於ケル保險料ノ算定ニ之ヲ準用ス

第九十五條第二項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者又ハ性質上事故多キ業務ニ使用セラルル被保險者ニ付テハ異ナル保險料率ヲ定ムルコトヲ得

第九十七條ノ二ニ左ノ一項ヲ加フ

被保險者ノ資格ノ取得又ハ喪失アリタル月ニ於テ被保險者ガ健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ月ニ於ケル被保險者タル日數(同法同條同項各號ノ一ニ該當スル日數ヲ除ク)ガ十五日以内ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ、其ノ日數ナキトキハ全額ヲ徵收セズ

第九百條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

保險者ガ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキ又ハ納付シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ關スル納入ノ告知又ハ納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上げ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上げ納入ノ告知又ハ納付ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第一百一條ノ二第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 被保險者ノ使用セラルル事業所ヲ廢止シタルトキ

附則第三項ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十七年法律第三十八號中第一條第二項、第十三條及第四十五條ノ改正規定並ニ第十三條ノ二、第四十三條ノ三乃至第四十三條ノ五及第五十九條ノ二ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

職員健康保險法施行令ハ之ヲ廢止ス

前項ノ規定施行前ノ職員健康保險ノ保險給付及保險料

其ノ他ノ徵收金ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タ

リシ者ニシテ引續キ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモ

ノニ付テハ職員健康保險法ニ基キ其ノ者ニ付定メタル

標準報酬ヲ以テ其ノ者ノ健康保險法ニ基キ定メタル標

準報酬トス但シ同項ノ規定施行ノ月ヨリ職員健康保險

法施行令第四條第二項ノ規定ニ依リ其ノ者ノ標準報酬

ヲ變更スベカリシ場合ニ在リテハ同月ヨリ第四條第二

項ノ規定ニ準ジ其ノ者ノ標準報酬ヲ變更ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ

喪失シタル者ニシテ昭和十七年法律第三十八號附則第

七項ニ依リ健康保險ノ保險給付ヲ受クルモノノ保險給

付ニ關シテハ其ノ資格喪失ノ際ニ於ケル標準報酬ニ依

ル

第二項ノ規定施行前職員健康保險法及職員健康保險法

施行令ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ健康保險法及

健康保險法施行令中ノ相當規定ニ基キテ之ヲ爲シタル

モノト看做ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險法及職員健康保險法

施行令ニ基キテ爲シタル申請ハ健康保險法及健康保險法施行令中ノ相當規定ニ基キテ之ヲ爲シタルモノト看做ス前五項ニ定ムルモノノ外第二項ノ規定施行ノ際必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

社會保險審査會規程中左ノ通改正ス

第一條中「職員健康保險法第八十一條及第八十三條」

及「第四十九條ノ意見ノ答申及同法」ヲ削ル

第六條第一項第二號中「若ハ職員健康保險」ヲ削リ同項

第四號中「健康保險、國民健康保險若ハ職員健康保險」

ヲ「健康保險若ハ國民健康保險」ニ改ム

第七條第一項第二號及第三號中、「職員健康保險」ヲ削

ル

第十八條第一項中「職員健康保險組合」ヲ削ル

勞働者年金保險法施行令中左ノ通改正ス

第五條第一項第六號中「業務」ヲ「事業所」ニ改ム

第八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ

完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金

額ガ十錢未滿ナルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第十條第一號(中)「又ハ試ニ」ヲ削リ同條第二號中「工

場、事業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム

第十一條 削除

第二十八條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告

知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保

險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキ又ハ納付シタ

ル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額

ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ關

スル納入ノ告知又ハ納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シ

タル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知又ハ納付ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第二十九條第二號、第三十九條第一項及第四十一條第一項中「工場、事業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
〔參照〕

大正十五年六月三十日
勅令第二百四十三號健康保險法施行令抄録

第一條 健康保險者第二條第一項ノ賃金、給料又ハ俸給ニ準ズベキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲グルモノヲ除ク

二 通勤手當
第五條第一項

第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

三 日、時間、稼高又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日前一月間ニ現ニ使用セラルル事業ニ於テ同様ノ作業ニ從事シ同様ノ報酬ヲ受クル者ガ受ケタル報酬ノ額

六 同時ニ二以上ノ業務ニ於テ報酬ヲ受クル場合ニ於テハ各業務ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

第五條ノ二 健康保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ保險料其ノ他同法ノ規定ニ依リ徵收金納付ノ督

促ヲ爲サントスル時ハ保險者ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收ス

第五條ノ三 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
〔左記略ス〕

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第七條 政府ノ事業ニ使用セラルル被保險者ガ共濟組合ノ組合員ナル場合ニ於テ其ノ組合ノ給付ノ種類及程度ヲ厚生大臣ニ於テ適當ナリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其ノ被保險者ニ對シテハ健康保險法ノ規定ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第九條 臨時ニ使用セラルル者ノ中左ニ掲グル者ハ健康保險法第十三條但書又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノトス但シ第一號ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ第二號若ハ第三號ニ該當スル者一月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
〔左記略ス〕

第九條ノ二 健康保險法第十三條第三號(ホ)ノ規定ニ依リ左ノ事業ヲ指定ス

〔左記略ス〕

第九條ノ三 健康保險法第十三條第三號(ト)ノ規定ニ依リ焼却、清掃又ハ屠殺ノ事業ヲ指定ス

第九條ノ四 健康保險法第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ農産物、林産物若ハ水産物ノ栽培、採取、採捕、處理者ハ養殖、園藝、養蠶又ハ養畜ノ事業ヲ指定ス

第十條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タラムトスル申請ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日(續續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日)ヨリ十日以内ニ之ヲ爲スベシ但シ保險者ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ノ申請ト雖之ヲ受理スルコトヲ得

第十二條 規約ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ
〔左記略ス〕

第五十七條 組合ノ分割ハ組合ノ設立アル事業ノ一部ニ付之ヲ爲スコトヲ得ズ
一 事業ニ於テ作業ノ場所ニ二以上アル場合ニ於テハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ厚生大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第六十七條 組合ノ設立アル事業ヲ増減セムトスルトキハ編入又ハ削除セラルベキ事業ノ事業主ノ全部及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス
編入又ハ削除セラルベキ事業ニ以上アル場合ニ於テハ前項ノ被保險者ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ健康保險法第十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ事業編入ニ關スル規約變更ノ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルベキ者トス

第七十四條 健康保險法第四十三條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍左ノ如シ

(左記略ス)

前項第四號及第五號ノ給付ハ保險者必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル

第七十五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者ハ保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ健康保險法第四十三條第三項ノ規定ニ依リ病院ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者ハ保險者ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第七十七條 左ノ場合ニ於テハ健康保險法第四十四條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

(左記略ス)

健康保險組合ハ前項各號ノ外規約ヲ以テ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得ル場合ヲ定ムルコトヲ得

第七十八條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ保險者之ヲ定ム

第七十九條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ十二ニ相當スル金額トス

第七十九條ノ二 健康保險組合ハ健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲サントスルトキハ規約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムベシ

第七十九條ノ三 健康保險法第四十七條第二項但書ノ規定ニ依ル期間ハ六月トス

第八十一條 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シ支給スベキ分娩費ノ額ハ十圓トス

産院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出産手當金ニ付テハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條 分娩ニ關スル保險給付ハ分娩前一年内ニ於テ百八十日以上被保險者タリシ者ニ非ザレバ之ヲ爲サズ但シ九十日以上被保險者タリシ者ニ對シテハ分娩費ヲ支給シ又ハ助産ノ手當ヲ爲ス

第八十三條 削除

第八十四條ノ二 健康保險法第五十五條乃至第五十七條ノ規定ニ該當スル被保險者タリシ者職員健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ職員健康保險法、船員保險法又ハ船員法ニ於テ健康保險法ノ規定ニ依リ保險給付ト同種ノ給付ヲ爲ストキハ健康保險法ノ規定ニ依リ保險給付ハ之ヲ爲サズ

第八十七條ノ二 健康保險法第一條第二項ノ補給金ノ支給ハ引續キ一年以上被保險者タリシ者ト同一ノ世帯ニ屬シ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者

ノ疾病又ハ負傷ニ關スルモノニ限ル

第八十七條ノ三 健康保險法第一條第二項ノ補給金ハ前條ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ關シ入院ニ要スル費用又ハ一回十圓以上ノ處置料若ハ手術料ニ付保險者ニ於テ必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ支給ス

補給金ノ額ハ保險者ノ定ムル所ニ依リ前項ノ費用ヲ計算シタル額ノ二分ノ一ニ相當スル額トス但シ現ニ要シタル費用ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

補給金ヲ支給スベキ療養ノ期間ニ付テハ健康保險法第四十七條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

世帯員ガ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其ノ世帯員ガ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ支拂フベキ療養ニ要シタル費用ニ付補給金トシテ被保險者ニ對シ支給スベキ額ノ限度ニ於テ被保險者ニ代リ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ之ヲ支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ費用ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ於テ被保險者ニ對シ補給金ヲ支給シタルモノト看做ス

世帯員ガ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師以外ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル補給金ノ支給方法ハ厚生大臣之ヲ定ム

前條ノ疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ法令ノ規定ニ依リ療養費ノ支給又ハ療養アリタルトキハ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ補給金ハ之ヲ支給セズ

第八十七條ノ四 健康保險組合ハ補給金ノ支給ヲ爲

サントスルトキハ規約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムベシ

第八十九條 傷病手当金及出産手当金ハ少クトモ毎月二回一定ノ期日ニ之ヲ支給スベシ但シ毎月一回報酬ノ支拂ヲ受タル被保險者ニ付テハ毎月一回其ノ報酬支拂ノ日ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得
療養費、埋葬料、分娩費及補給金ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第八十九條ノ二 健康保險法第十七條第二項ノ規定ニ依ル被保險者ニ關シテハ第七十九條ノ三、第八十二條及第八十七條ノ二ノ規定ニ依ル期間ノ計算ニ付職員健康保險ノ被保險者タリシ期間ヲ合算ス
第九十五條第二項

保險料率ハ各被保險者ニ付同一ナルコトヲ要ス但シ性質上事故多キ業務ニ使用セラルル被保險者ニ付テハ其ノ業務ノ種類ニ從ヒ異ナル保險料率ヲ定ムルコトヲ得

第百條第二項及第三項

保險者保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第百一條ノ二 保險料納付義務者左ノ各號ノ一ニ該

當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徴收スルコトヲ得

二 被保險者ノ使用セラルル工場又ハ事業場ヲ廢止シタルトキ

附則第三項

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者及本令施行後昭和十七年三月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ノ標準報酬ニシテ同期間内ニ於テ效力ヲ有スルモノハ從前ノ規定ニ依ルモノトス

昭和十六年六月二十一日公布勅令第七百十五號社會保險審查會規程抄録

第一條 社會保險審查會ハ厚生大臣ノ監督ニ屬シ健康保險法第八十條及第八十二條、勞働者災害扶助責任保險法第九條、國民健康保險法第四十八條、職員健康保險法第八十一條及第八十三條、船員保險法第六十三條及第六十五條、勞働者年金保險法第六十二條及第六十四條ノ審查並ニ國民健康保險法第四十九條ノ意見ノ答申及同法第五十條ノ斡旋ヲ爲ス

昭和十六年九月公布勅令第一千二百五十號勞働者年金保險法施行令抄録

第八條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徴收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徴收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徴收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

(左記略ス)

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徴收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徴收セズ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ勞働者年金保險法第十六條第六號又ハ第十七條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノトス但シ第一號イニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ同號ロ若ハハニ該當スル者六月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 臨時ニ使用セラルル者ニシテ左ニ掲グルモノ (左記略ス)

第十一條 勞働者年金保險法第十七條第三號ノ規定ニ依ル事業ハ健康保險法第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ指定スル事業トス

第二十八條第二項及第三項

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

昭和十七年二月二十一日公布法律第三十八號ハ健康保險法中改正ノ件ナリ